

あかね



令和5年11月17日(金)発行
薩摩川内市立川内北中学校

自主 友愛 奉仕 鍛錬

文責：校長 感王寺 等

芸術の秋 文化祭

先週の7日(火)、4年ぶりに入場制限なしの文化祭を実施しました。今回のスローガンは、「みんなで創る絆の証 後世に語り継がれる 私たちの最高傑作!」です。展示部門では、日頃の学習活動で作成した作品や、ふるさとコミュニケーション(FC)科の調べ学習の成果を掲示し、学年ごとに鑑賞しました。



コロナ禍の教育活動でリモート発表にも慣れてきましたので、1、2年生のFC科のプレゼンテーションの発表と英語スピーチはリモートで行いました。データ量が多いと少しタイムラグが生じてしまいましたが、保護者のみなさんには、体育館で鑑賞していただきました。インフルエンザの流行もありましたので、感染予防にもなったと思います。



舞台の部では、吹奏楽部と3年生の構成劇を発表しました。今週日曜日に、全日本マーチングコンテストに出場する曲を始め、迫力ある演奏を披露し、全校生の手拍子も相まって、楽しいステージとなりました。



3年生の構成劇の「夢屋」では、先生の指導やお母さんからの束縛から逃げ出したい中学3年生が、偶然出会った不思議な夢屋さんから自由の国への切符を買い、自由の国に行く話でした。最終的には「自由の侵害」としてお互いのかかわり合いを認めない自由の国

から追放され、現実の世界に戻されました。劇中のセリフの中には、「不自由ってのは、自由より楽だからだ」「私は、もともと自由だった」「自由というのは、そこにあるものではありませんよ。選ぶことなんだ」など、自由とは何かを考えるいい機会になったのではないのでしょうか。



主人公が、現実の世界に戻って、教師の指導や母親の束縛を不自由とは思わず、自分の進路に向け頑張ろうと決意したように、3年生も同学年の絆を大切にして、これからの生活を大事にしていってほしいと思います。私たちは、人とかかわり合いの中で生きていくのですから。

冬に向け意識を高め

先週末の11日(土)、火災を想定した避難訓練を実施しました。避難指示後、5分程度で全校生徒が運動場に避難し、人員の確認まで含め7分で完了しました。日頃の集団行動の成果だと感じますが、中には避難時に少しふざけてしまった生徒もいたようですので、その点は反省すべきかと思います。

避難後は、薩摩川内中央消防署の指導の下、水消火器を使った訓練を実施しました。各学年2名の代表生徒みんなが大きな声で火事を知らせ、指導通りしっかり活動できました。ちなみに消火器の指導をしてくださった方は本校の卒業生であり、活躍する先輩の姿を拝見することができました。



火災の死因の1番は煙であり、姿勢を低くして避難することや、天井まで届く炎の場合には消火器では対応できないこと、避難をスムーズにできるために玄関先を片付けておくことなど、ご指導いただきました。これから寒くなり暖房器具を使う機会も増えます。必要に応じた換気や、火器の取扱いに気を付け、火災予防に努めたいものです。

学年に応じ、進路や学習の取組について親子で会話しましょう。

県総体駅伝

今月 9 日(木)、指宿陸上競技場周辺コースで開催された県総体駅伝競技に、本校男女駅伝部が出場し力走しました。男子はめまぐるしく順位が入れ替わる混戦の中で常に上位で戦い、女子も区間ごとに追い上げを見せ、男女ともに健闘しました。

【大会結果】

男子 3 位 女子 22 位

【区間賞】

1 区 3 位 高味 幸人 4 区 2 位 東谷 陸



人権教室

今月 10 日(金)、鹿児島県男女共同参画センターの高崎恵コーディネーターを講師に招き、3 年生の人権



教室を実施しました。「自尊感情の育成と良好な人間関係づくり」とのテーマでワークショップを行い、I メッセージ(貴方を主語として相手を責めるのではなく、私の気持ちや考えを伝えること)や、相手の気持ちを思いやる(発言する人の気持ちを考えて聞くこと)ことの大切さ等、教えていただきました。性別にとらわれず、同じ人間としてお互いを認め合い、協力できる一人一人に成長してほしいものです。

残念なことに

先日、学校に次のような電話がありました。育英小校区の 100 円ショップ周辺の歩道で、下校中の中学生が道いっぱい広がったり、自転車と並進したりして迷惑だったという内容です。これまでも、登下校のマナーについては再三指導してきていますが、しっかりルールを守っている生徒もいるだけに、非常に残念です。地域の中で生きるということは、自分以外の人の気持ちを考えたり、自分の行動を客観的に見たりする力が育たなければなりません。自分勝手な大人ばかりの地域は、住みづらいと思います。お互い様、お陰様を大事にしてこそ、世の中は平穏に生活できるのではないでしょうか。PTA生活部の登下校指導の報告でも、登校時は良いが、下校時のマナーが問題だと聞いています。今一度、ご家庭でも登下校のマナーについてお話しいただきたいと思います。

ゲームのトラブル

① スマホのゲームに夢中である F くん。認証パスワードはお母さんが管理しているため、ポイントやアイテムが欲しいときは相談して解除してもらっていました。



② ある月、十数万円の請求が来て大慌て。スマホの認証方法を確認すると、パスワード入力後 30 分間はパスワードの再入力不要の設定になっていました。

文字や音声でやりとりしながら楽しめるゲーム等も増えました。アイテムやガチャの購入による「気づけば高額課金」を防ぐための工夫や、プレイする際に気をつけたいことは何か、考えましょう。

○ 課金のし過ぎを防ぐためには

コンビニなどでも手軽に買えるプリペイドカードを、お小遣いで購入して大切に使うのは良い方法です。ひと月の限度額を自ら決めることで、コントロールしながら使う力が身につきます。

○ 甘い誘いはワナの可能性がある

アカウントを乗っ取るために、ID・パスワードを聞き出そうとする人もいます。聞かれても答えないのはもちろん、プロフィールやゲーム中のやりとりから憶測できそうなパスワードは絶対に使わないようにしましょう。

○ ボイスチャットはさらに注意

ゲーム内の音声会話がきっかけのトラブルも増えています。ネットだけの友達がいる場では、個人が判る情報が伝わらないよう、話す内容、マイクで拾う音等、細かな注意が必要です。

○ ゲームでのトラブルは高額課金以外にも

高額課金を心配する声は多いようですが、アカウントを乗っ取られる、ポイントやアイテムを奪われる、クラウドに保存した写真を盗み見られるなど、被害はさまざまです。親しい人でも ID・パスワードを教えるのは絶対にダメです。逆に、他人の ID やパスワードでログインすることは、不正アクセス禁止法違反になり、犯罪だということもしっかり理解させましょう。

また、ゲームや SNS の ID・パスワードの悪用による被害への注意喚起も必要です。さらに、対象年齢に満たない子供の使用に起因した誘拐等も起きています。年齢制限のあるゲームなど、対象年齢まで我慢させることも大事です。

度重なると総額があいまいになりがちな課金。考えずに限度額まで使うより、毎回小遣い帳にメモして調整するなど、自己管理能力を育てましょう。

(総務省 インターネットトラブル事例集より)

テスト後の学び直しこそ勉強!